













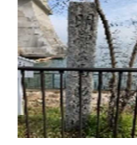

アプリ活用イベント in 大津 チックポイント一覧

スタート:13時15分 ~ フィニッシュ:16時








大津祭・宿場町コース

<p>20 明治天皇聖蹟 (大津宿本陣) 碑</p>  <p>明治天皇、昭憲皇太后の御駐泊所です。大津本陣跡で、明治天皇がしばしば御駐泊になった場所です。昔、南尋常小学校の講堂の天井板に御泊まり居間、天井板が残されたと聞いておりましたが今はどうなっているのでしょうか。御幸町6-13付近にあります。</p>	<p>20 池坊専正歌碑 (京町1)</p>  <p>榮泉寺(京町1丁目1-10)に明治31年(1898)7月に建立されました。高さ1.33m「偲ぶれば草場のかげになくむしをすぎにし君の声かとぞ思ふ」と詠まれています。 ※寺の境内、門が閉まっていることがある</p>	<p>20 大津事件記念碑 (京町2)</p>  <p>明治24年(1891)国賓として来日中のロシアの皇太子ニコラ・アレクサンドロビッチが警護の巡査に襲われるという事件が発生しました。この事件のあった京町2丁目11-2の町角に「此付近露国皇太子遭難之地」と記された碑が立っています。</p>	<p>20 明治天皇聖蹟碑 (中央2)</p>  <p>大津別院(中央2丁目5-25)に明治13年(1880)6月29日と7月14日の行幸を記念して建立されました。高さ2.08m「明治天皇聖蹟」と刻まれています。 ※寺の境内、門が閉まっていることがある</p>	<p>20 明治天皇行在所の碑 (中央2)</p>  <p>大津別院(中央2丁目5-25)に昭和14年11月に建てられました。高さ2.02m「明治天皇大津別院行在所、史蹟名勝天然記念物保存法ニ依り史蹟トシテ昭和十三年(1938)八月文部大臣指定」と刻まれています。</p>	<p>20 松田道之の碑(京町4)</p>  <p>明治15年(1882)11月、東京府知事在職中に没した松田道之の功績をたたえて高観音(近松寺)に建立されました。その後、現在の地(京町4丁目1-1県庁前庭)に移転されました。道之は鳥取藩士久保氏の次男として生まれ、尊皇攘夷運動に活躍して、明治維新後は明治政府に登用され、地方制度の整備に尽力しました。高さ1.6mで撰文が刻まれています。 皇居前庭の西南隅に建</p>	<p>20 明治天皇聖蹟碑 (島の関)</p>  <p>中央小学校(島の関1-60)に師範学校創立60周年記念として昭和10年(1935)10月15日に建立されました。高さ6.15mで、表に「明治天皇聖蹟」と題し、裏に「明治11年(1878)10月13・15日の行幸の経緯を記しています。</p>
---	--	--	---	--	---	--




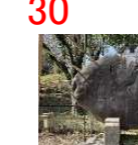



紫式部ゆかりコース

<p>20 石亭翁登遊碑 (石山寺1)</p>  <p>碑文には寛政11年(1799)11月となっているが、1800年3月に木内石亭の喜寿を記念して石山寺参道に建立されたと言われています。石亭は諸国をめぐって奇石を収集して研究した民間の学者です。石山寺には白馬瑠(めのう)という珍しい奇石があり、この石を一生のうち100回も見に登ったということから、この地(石山寺1丁目2番街区の山際)に建立されたと言われています。石材は</p>	<p>20 立木観音の道標 (石山寺1)</p>  <p>石山寺(石山寺1丁目1-1)の東大門の門前の右角に建てられています。石山寺参詣者に立木観音を案内するものです。高さ1.37m「すぐ立木観世音道 是より四十…」と刻まれています。</p>	<p>40 松村雲外句碑 (石山寺1)</p>  <p>石山寺(石山寺1丁目1-1)内の無憂園に昭和56年8月に建立された高さ95cmの句碑で、「きつつきや伽藍にひびくはしの音」と刻まれています。 ※有料施設内</p>	<p>40 松尾芭蕉句碑 (石山寺1)</p>  <p>嘉永2年(1849年)石山寺(石山寺1丁目1-1)境内に建立された高さ1.36mの句碑で、『勢田に泊まりて暁石山寺に詣かの間を見る「曙はまだむらさきにほととぎす』』と刻まれています。 ※有料施設内</p>	<p>40 靈仙三蔵の碑(石山寺1)</p>  <p>三蔵は日本僧でただ一人、唐の皇帝の命で仏典の翻訳に携わった人です。昭和55年4月に石山寺(石山寺1丁目1-1)の無憂園に建立されました。高さ1.9mの主碑と略歴を記した副碑からなっています。 ※有料施設内</p>	<p>50 明智左馬之介湖水渡りの碑(打出浜)</p>  <p>県立琵琶湖文化館(打出浜1-1)の前にあり、高さ2.63m「明智左馬之介湖水渡り、天正十年(1582)6月14日」と刻まれています。明智光秀が織田信長を討つまもなく、羽柴秀吉に敗れ、住民の襲撃に倒れました。この時安土城を守っていた光秀の女婿明智秀満(左馬之介)は光秀の敗死も報を受け、急ぎ光秀の居城坂本城に向かいました。途中、打出浜あたりで秀吉軍の先鋒堀</p>	<p>20 大津城跡碑(浜大津5)</p>  <p>浜大津5丁目2-29北西側付近に昭和46年(1971)3月に建立されました。高さ72cm「大津城跡」と刻まれています。</p>
---	---	--	---	--	---	---








明智光秀ゆかりコース

<p>100 明智左馬之助の碑(柳が崎)</p>  <p>国道161号線沿いの柳が崎8番街区に昭和29年(1954)10月に建立されました。高さ1.64m「明智左馬之助光俊駒止松」と刻まれています。</p>	<p>100 坂本城址の碑(下阪本3)</p>  <p>東南寺西(下阪本3丁目5番街区の南西角の東南寺川付近)にあり、大正四年に建立された1.36mの碑です。</p>	<p>30 西教寺道の道標(坂本5)</p>  <p>坂本5丁目24-84の角にあり、高さ1.79mで「右・盛門本山西教寺道」と刻まれています。</p>	<p>20 元三大師道の道標(坂本6)</p>  <p>倉園神社(坂本6丁目3-35)境内にあり、明和2年(1765)7月に建てられました。高さ88cmで「右・いむろ よかわ 元三大師・西教寺道」と刻まれています。</p>	<p>30 沢庵和尚詩碑(坂本5)</p>  <p>昭和47年(1972)に、十七万日大法会記念として建立されました。高さ1.3mで「西方の行者斯れをトす 不断の称名日夜閑かなり 水も鳥も樹も林も皆念仏なり 見えず安養は人間に在りと」と刻まれています。坂本5丁目13-1の西教寺門前にあります。</p>	<p>20 松尾芭蕉句碑(神宮町)</p>  <p>昭和32年(1957)4月7日正風詩百号を記念して近江神宮(神宮町1-1)境内に建立されました。高さ2.85m「から崎の松は花より靡にて」と詠われています。</p>	<p>20 保田興重郎歌碑(神宮町1)</p>  <p>近江神宮(神宮町1-1)の時計博物館前にあり、昭和59年(1984)4月に建立されました。高さ2.3m「さなみのしがの山路の春にまよひひとり眺めし花ざかりかな」と詠まれています。</p>
--	--	---	--	--	---	--

かるたの聖地コース

<p>20 桂樟蹊子句碑(神宮町)</p>  <p>昭和54年(1979)11月3日に建立されました。高さ1.1m「瀧刻の音とこしへに初日影」と詠まれています。神宮町1-1の近江神宮内にあります。</p>	<p>20 近江神宮の歌碑(神宮町1)</p>  <p>近江神宮(神宮町1-1)境内には、万葉時代からの多くの歌碑が残されています。小倉百人一首で親しまれている、天智天皇の歌や柿本人麻呂、保田興重郎などの碑があります。</p>	<p>20 横井時常歌碑(神宮町1)</p>  <p>近江神宮(神宮町1-1)の境内に昭和55年(1980)5月5日に建立されました。高さ70cm「とし神はいま帰らずか左義長の青竹はぜて高くもえ立つ」と歌われています。</p>	<p>30 柿本人麻呂歌碑(神宮町1)</p>  <p>近江神宮(神宮町1-1)の近江時計眼鏡宝飾専門学校前に昭和53年(1978)秋に建立されました。高さ90cm「淡海乃海夕浪千鳥汝鳴る情も思努爾古所念(おうみのうみゆうなみちどりながなげばこころもしぬいにしえおもほゆ)」と刻まれています。</p>	<p>20 柿本人麻呂歌碑(御陵町3)</p>  <p>市役所(御陵町3-1)時計塔の下にあり、溢水石の表面に大津宮跡を訪ねた柿本人麻呂の反歌1首が刻まれています。上部から碑面を水が流れ、歌碑としては珍しいものです。「さなみの志賀の大わだよどむとも昔の人に亦も逢はめやも」</p>	<p>10 鈴鹿野呂呂句碑(御陵町)</p>  <p>昭和36年(1961)2月に建立されました。高さ82cm「大琵琶の八十の浦なる浮寝鳥」と詠まれています。御陵町2-3の市民文化会館の庭内にあります。</p>	<p>10 一指句碑(御陵町)</p>  <p>1979年3月1日に建立されました。「さざ波のきらめきよする良夜かな」と詠まれています。御陵町2-3の市民文化会館の庭内にあります。</p>
--	---	---	--	--	---	--

かるたの聖地コース

<p>10 水原秋桜子歌碑(御陵町2)</p>  <p>大津市立市民文化会館(御陵町2-3)の庭に立ついくつかの句碑のうちの一つです。句は秋桜子が馬酔木会の招きで滋賀県に来た時のもので、近江の景色のすばらしさを詠んでいます。「浦曲まで月夜くまなし鴨わたる」</p>	<p>20 藤本映湖句碑(御陵町2)</p>  <p>大津市立市民文化会館(御陵町2-3)の庭にある句碑で高さ1.68m。大津市出身で、大津にある俳句結社花藻の主宰者映湖が、秋を詠んだ句が刻まれています。「肘つけば肘より冷ゆる山の秋」</p>	<p>20 松尾芭蕉句碑(園城寺町)①</p>  <p>昭和46年5月に三井寺の円満院(園城寺町33)に建立されました。高さ1.61mで「大津絵の筆のはじめは何仏」と詠まれています。</p>	<p>20 松尾芭蕉句碑(園城寺町)②</p>  <p>三井寺の円満院(園城寺町33)の前庭にあり、高さ1.45mで芭蕉の直筆をそのまま拡大し刻んだものです。月見の宴を催した時のことを、中国の故事をもちいて詠んだものです。「三井寺の門たへかばやけふの月」昭和38(1963)年10月に建立されました。</p>	<p>40 井上士郎句碑(園城寺町)</p>  <p>文政元年(1818)5月16日に建立され、園城寺観音堂の裏山に小関越から移転されたといわれています。高さ1.06m「つくづくと見て居ればちる桜かな」と詠まれています。 ※有料施設内</p>	<p>30 今堀勘右衛門歌碑(三井寺町)</p>  <p>1980年に建立されました。高さ99cm「長等の宮一千三百年の昔日を偲びて仰ぐ岩座の滝」と詠まれています。三井寺町4-1の長等神社にあります。 ※有料施設内</p>	<p>40 平忠度歌碑(三井寺町)</p>  <p>長等神社(三井寺町4-1)鎮座一千三百年記念として長等公園桜ヶ丘の碑を模刻して、昭和57年(1982)4月に建立されました。高さ1.39m「さゞ浪やしがのみやこはあれにしむかしながらの山ざくらかな」と詠まれています。 ※有料施設内</p>
--	---	---	--	--	--	--

■ルール

- 制限時間内にチェックポイント(碑)を巡り、巡った碑ごとに設定したポイントの合計で点数を競います。
- 点数は碑ごとに最大100点、最小10点でバラバラに設定されていて、戻るまでわかりません。 ※碑に設定されたポイントの合計は1,000ポイントです。
- コース内のすべてのチェックポイントを巡るとボーナスポイントがコースごとに加算されます。
「大津祭・宿場町コース」 50ポイント
「紫式部ゆかりコース」 150ポイント
「明智光秀ゆかりコース」 200ポイント
「かるたの聖地コース」 100ポイント
- 小学生以下のお子さんと一緒に巡るとボーナス100ポイント加算されます。
- 制限時間の16時までに戻ってこない場合、1分ごとに20点減点しますので、無理をせず早めに戻られることをオススメします。

■全体地図

チェックポイントとトイレの位置情報をGoogleMapsで一覧できるページは以下のQRコードから参照できます。



■アンケート

アンケートに答えると100ボーナスポイントが加算されます。オープンデータや大津のことについて、以下のQRコードから回答をお願いします。



■お願い

- ・歩きスマホは危険です。イベント参加中は周囲に十分気をつけて安全に配慮してご参加ください。
- ・やむを得ない事情で途中棄権される場合は必ず緊急連絡先までお知らせください。